

スポーツ秋田



題字：辻 兵吉 元県体協会長



優勝した女子リレー本県チーム アンカー・石垣寿美子

〔写真提供：秋田魁新報社〕

contents

◎ながの銀嶺国体グラビア	2	◎全国高等学校総合体育大会成績(スキー)	
◎ながの銀嶺国体 天皇杯・皇后杯を獲得	3	全国中学校体育大会(冬季大会)	10
◎ながの銀嶺国体 秋田県選手の活躍	4	◎日韓青少年冬季スポーツ交流事業	
◎ながの銀嶺国体 競技結果	6	アスリート就職支援「新春セミナー」	12
◎平成28年度秋田県スポーツ賞受賞者	7	◎県内スポーツの主なできごと	13
		◎事務局だより	14



成年男子リレー 優勝
左から児玉宗史、田中聖土、木村壮志、湊祐介



女子リレー 優勝
左から米田菜緒、成田生絵、佐藤葵、石垣寿美子

ながの銀嶺国体

冬季スキー競技会

天皇杯・皇后杯を獲得



成年男子C ジャイアントスラローム 優勝
生田康宏 (東京美装鹿角)



少年男子 コンバインド
優勝 兄・木村吉大 (左・花輪高3年)
2位 弟・木村幸大 (右・花輪中3年)



少年男子 10和クラシカル 優勝
土濃塚悠成 (秋田北鷹高2年)



少年男子リレー 2位 3走木村賢太郎 (左・秋田北鷹高1年)
2走山本竜 (右・花輪高2年)



成年男子B コンバインド 優勝 湊祐介 (東京美装)



成年女子B ジャイアントスラローム 2位
向川桜子 (秋田ゼロックス)



少年男子 スーパージャンプ 3位
湯瀬晃成 (小坂高1年)



成年女子A 5和クラシカル 2位
藤田菜々瀬 (日大1年)

(写真提供：秋田魁新報社)



おめでとう! スキー競技 天皇杯・皇后杯ともに獲得

長野県白馬村で2月13日から開かれた第72回国民体育大会冬季スキー競技会で、本県チームは初めて天皇杯と皇后杯を同時獲得した。県スキー連盟の活躍を大いに称え、その模様を振り返ってみたい。最終日の前日、天皇杯・皇后杯の順位は別表のとおり1位と2位は僅差であった。

最終日の17日は、少年男子の大回転とリレー（女子、少年男子、成年男子）が行われる。快晴が続いた天気が一転して、朝から冷たい雨が降った。これが選手にどのような影響を与えるか、気になった。

女子リレーは、1走が米田菜緒（小坂高）、2走・成田生絵（十和田高）、3走・佐藤葵（早稲田大）、アンカーが石垣寿美子（秋田ゼロックス）の順で、ひとり5^キを走る。米田と成田は、前日までの個人種目・少年女子クラシカルでそれぞれ6位と2位入賞、佐藤は成年女子で4位、石垣は成年女子Bで2位だった。リレー競技は、走法がフリーで、個人競技とは異なるため、監督も選手選びと順番に熟慮する。昨年のメンバーで入ったのは、佐藤と石垣。2位で引き継いだアンカー石垣は、青森を追い詰め、1^キ地点で追い抜いた。過去、青森には最後の直線で抜かれた苦い経験がある。追走する青森を引き離すタイミングを探りながら、残り1^キでスパートし、後顧の憂いなく差を付けて、両手をあげて1位ゴール。メンバーが駆け寄り、歓喜の渦が巻き上がった。

前日までの皇后杯獲得得点でトップの北海道は、このリレーで4位に終わったため、本県は2点差を付けての逆転優勝。6連覇を逃したあと、2年を置いて皇后杯を奪還した本県女子チームの実力をまざまざと見せてくれたレースであった。

「女子に続け」と男子チームの奮起を促す田口総監督にも気合いがかかる。前日までの男女総合獲得得点は、本県が1位で117点、続く北海道が114点で3点のリードしかない。最終日の少年男子大回転で北海道は10点を獲得し、逆転している。女子リレーの差を加えて、その差は4点。残るは、男子のリレーのみだ。

少年男子リレーはひとり10^キのコースで、メンバーは1走・高橋和希（秋田北鷹高）、2走・山本竜（花輪高）、3走・木村賢太郎（秋田北鷹高）、アンカーが土濃塚悠成（同）。3走の木村が1年生で、あとは2年生のチームだ。土濃塚は個人種目のクラシカルで優勝しており、期待がかかる。1～3走まで先頭グループに離されながらも5位で、アンカー土濃塚につなぎ、昨年に続いての準優勝をもぎ取った。このレースで北海道は3位、差が3点に縮まった。

最終レースとなる成年男子リレー。1走は木村壮志（東海大）、2走・田中聖土（早稲田大）、3走・児玉宗史（東海大）、アンカーが湊祐介（東京美装）で、1走を除く3人が昨年の準優勝メンバーという態勢で臨んだ。1走の木村は先頭グループに後れないよう付いていき、6位で2走へ。田中はトップを追い抜き、3走へ渡したが、児玉が抜かれて2位でアンカーへつないだ。複合成年Bで3連覇を果たしたベテランの湊は、徐々に差を詰めて一気に抜き去り、圧巻のトップでゴール。成年男子のリレーは、昭和30年国体での初優勝以来62年ぶりとなる栄冠を手にした。

本県が天皇杯と皇后杯を共に獲得したのは初めてであり、その感激にわく選手の目に涙があふれた。最後まであきらめない不屈の精神で戦った者こそ得られた勝利の味は深い。本県スキー競技の選手の努力はもちろんだが、それを支えたコーチ、監督、ワックスマン、帯同ドクター、トレーナーそして役員など多くの関係者による「チームあきた」の勝利である。このスキーの勢いを本国体へとつなげていかなければならない。

（秋田県選手団 副団長 片野裕）

別表

	2月16日	2月17日（最終日）	
○天皇杯		少年男子終了	成年男子終了
1位	秋田県 117	北海道 135	秋田県 140
2位	北海道 114	秋田県 132	北海道 138
○皇后杯		女子リレー終了	
1位	北海道 42	秋田県 49	
2位	秋田県 41	北海道 47	

※得点は、参加点を含まない競技得点である



閉会式（天皇杯・皇后杯・大会会長杯授与式）



ながの銀嶺国体 秋田県選手の活躍

戦い終えて

秋田県選手団 総監督 田口 将
(秋田県スキー連盟競技本部長)

平成19年「秋田わか杉国体」の年、花輪スキー場での冬季国体スキー競技会開催を機としたアルパスジャンプ台を含む花輪スキー場の大整備と、総力を上げて取り組んだ強化策が結実して天皇杯を獲得したこの年以降、継続的かつ組織的な強化の基盤と強さを今大会まで脈々と受け継いできた。

その後「あきた鹿角国体2011・2013」と立て続けに冬季国体スキー競技会を地元で開催したことにより、応援してくれる郷土の方々力を、選手達の強い団結力と国体に対する思いに変えてこられたことが今国体での栄光への大きな要因となっていることを、当時少年選手として出場していた大学生選手達の活躍する姿を見て実感した。

また、圧倒的な強さを見せて優勝したジャイアントスラロームの生田康宏、自ら逆転劇で皇后杯をつかみ取った女子リレーアンカーの石垣寿美子、コンバインドで連覇し男子リレー逆転優勝の立役者となった湊祐介らをはじめ、今大会チームを引っ張ってくれた社会人選手達の活躍を誇りに思う。

更にその活躍を見ていた少年選手達が、将来「スキー王国秋田」を背負って躍動している姿を想像したとき、今の成年選手達の存在に感謝は尽きない。

昨年の第71回「希望郷いわて国体」冬季大会での優勝者2名をケガで欠き、劣勢が予測される中で危機感を持って臨んだ「ながの銀嶺国体」であったが、秋田県初の天皇杯、皇后杯同時獲得という結果で歴史に名を刻むことになった出場全選手、監督、コーチ、スタッフ。日本一の諸君に最大の賛辞を送りたい。

戦いを終えて、来年の国体の事を考えるに周囲からの期待が当然大きくなるであろう事を思うと、まだまだ課題があり恐怖感さえ感じるが、今はひととき関係者と共に喜びに浸りたいと思う。



大会会長トロフィーを掲げる田口総監督

木村 ^{こうだい} 幸大 選手 (花輪第二中学校3年)

・少年男子 コンバインド 準優勝

1. 高校生に囲まれての試合について

高校生との試合は何度か経験したことがあって、自分の力がどのくらい通用するのももだいたいたかったので、今できる自分のベストを出そうという気持ちで臨みました。

2. 兄の存在について

これまで、大きな目標として兄の背中を追いかけました。国体では目標としていた兄の次の順位だったので、少しは兄に近づけたのではないかと思います。これからはライバルとして競い合い、お互いを高め合うような関係になればと思います。

3. 国体準優勝について

素直に嬉しいです。2位ということで少しくやしい気持ちもありますが、自分のベストを出した結果なので、満足感のほうが大きいです。国体では、自分のためだけではなく、秋田県チームのために少しでも貢献したいと思い頑張りました。大会を終えて、これまで合宿や練習などで指導してくださった方々やお世話になった方々への感謝の気持ちでいっぱいです。応援していただき、ありがとうございました。

4. 高校進学後の目標は

高校進学後も練習を積み重ね、インターハイで優勝することが目標です。また、秋田県にはワールドカップやオリンピックなど、世界を舞台に活躍された先輩方がたくさんおられます。その先輩方に続くことができるよう、高校の練習でしっかり力を付けたいです。最大の目標はオリンピック出場、そして金メダルの獲得です。目標を達成するため、これからも努力を続けていきたいと思っています。



優勝した兄・吉大(右)と表彰台上がる幸大



石垣 寿美子選手 (秋田ゼロックス(株)スキー部)

- ・成年女子B クラシカル 準優勝
- ・女子 リレー 優勝 (アンカー)

1. メンバーとレース前に交わした会話

個人戦では、女子の種目で、全選手が優勝を逃してしまい準優勝という結果に終わってしまい悔しい思いをしていました。

リレーではレース前日は、メンバーとは特別な話はありませんが、メンバー、一人ひとりが前日の悔しさをバネに、優勝を目指していることは雰囲気から感じ取ることが出来たので、私自身も士気を高める事が出来ました。また残念ながらメンバーに入ることが出来なかった選手やスタッフの方々も全力でサポート、応援をしてくれましたので、安心してレースに臨む事が出来ました。

2. 逆転で獲得した皇后杯について

リレーを走る前は、皇后杯獲得の事は特に意識はしていませんでしたが、結果はおのずと付いてくると思い、目の前のリレーに集中しました。結果として、リレーで優勝し、皇后杯を獲得でき、とてもうれしく思います。



3年ぶりの皇后杯獲得は、個々の力強さはもちろんですが、秋田県チームの強さを改めて実感する事が出来ました。

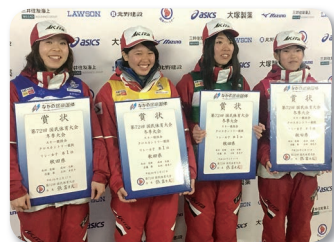
レース後、アンカー石垣に駆け寄りメンバー

3. アスリートとして日ごろ意識している取組は

基本的なことですが規則正しい生活や、食事などに気を遣いながら生活することです。やはり、バランスのとれた食事は身体を作る基本の元になりますので、身体に良いものや、栄養に気を遣いしっかり食べる事を意識しています。また、トレーニング後の身体のセルフケアもしっかりと行っています。自分で出来るストレッチやコンディショントレーニングをしっかりと行っています。

4. 本県ジュニアアスリートにアドバイス

秋田県は、全国や世界で活躍出来る選手のサポート体制、練習環境がとても充実しています。しかしこの環境に満足する事なく、感謝の気持ち、高い目標を持ち日々頑張ってください。目標に向かって努力した結果は必ず自分の財産になります。



女子リレーメンバー
左から、石垣、佐藤、成田、米田

秋田県選手団主将

湊 祐介選手 (東京美装興業グループスキー部)

- ・成年男子B スペシャルジャンプ 準優勝
- ・成年男子B コンバインド 優勝
- ・成年男子 リレー 優勝

1. 周囲の期待へのプレッシャーは

今シーズンは、国際大会に出場する機会がなく、目の前の大会1試合1試合に集中して取り組んでいます。国体は冬季の中でも秋田県で注目される大会だと思いますし、出場する限りは表彰台に立つ事だけを考えてこれまで頑張ってきました。また、国体こそ、私が良い結果を出す事を、応援して下さる秋田県の皆様に報告できる一番の機会だと思って試合に臨んでいますし、応援して下さっている皆様のおかげで国体での3連覇ができています。応援して下さっている方々が私を動かす原動力になっています。

2. 多種目で活躍する強さの秘密は

まずは、私をリレーメンバーとして出場させていただいたコーチ、スタッフに感謝したいです。62年ぶりに優勝できた瞬間と秋田の歴史に名前を残せた事に嬉しく思います。私は常に世界で戦うことを目標に練習を行なっています。ジャンプではスペシャルジャンプで通用するレベルで、クロスカントリーでも国内でトップレベルまで通用できる技術の向上に取り組んでいます。常に高い目標で練習に取り組んでいる事が、結果として良い方向に向かっていったと思います。今回のリレーもメンバー一人一人が良い走りをしてくれました。みんなの走りを見て元気をもらったからアンカーとして1番でゴールできました。メンバーの気持ちが結果として私の背中を押してくれたと思います。

3. 天皇杯・皇后杯ともに優勝の栄誉について

まず一言で「感謝です。」主将として秋田県の代表を背負う事が出来て本当に良い機会をいただけました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。今回の大会で感じた事は、私が引引っ張って行く立場でありましたが、むしろ選手一人一人が目指している目線が高い場所にあると感じました。特に若い世代の選手がお互いに刺激しあい、互いに競い合っていたのが印象に残っています。コンバインド複合少年男子は表彰台を独占し最高の結果となっていました。今シーズンは更に個人の技術強化に繋がった成果だと思います。今大会を通して競技場もですが、宿舍などでも選手とコーチが良い雰囲気で大大会期間中を過ごしていたと感じました。選手は選手として、コーチはコーチとして自分の出来る事に取り組んでいたのが結果となってあらわれたと感じました。改めて、主将に選んで下さった関係者の皆様に感謝とお礼の言葉を申し上げます。ありがとうございました。



表彰台で笑顔がこぼれる湊祐介



第72回国民体育大会冬季大会 競技結果

【スキー競技】 長野県白馬村 平成29年2月14日(火)～2月17日(金)

順位	得点	種別	種目	氏名	所属
1位	8	成年男子C	ジャイアントスラローム	生田 康宏	東京美装興業(株)鹿角事業所
1位	8	成年男子B	コンバインド	湊 祐介	東京美装興業グループスキー部
1位	8	少年男子	クロスカントリー	土濃塚 悠成	秋田北鷹高校
1位	8	少年男子	コンバインド	木村 吉大	花輪高校
1位	8	成年男子	リレー	木村 壮志	東海大学
				田中 聖土	早稲田大学
				児玉 宗史	東海大学
				湊 祐介	東京美装興業グループスキー部
1位	8	女子	リレー	米田 菜緒	小坂高校
				成田 生絵	十和田高校
				佐藤 葵	早稲田大学
				石垣 寿美子	秋田ゼロックス(株)スキー部
2位	7	成年男子B	スペシャルジャンプ	湊 祐介	東京美装興業グループスキー部
2位	7	成年女子A	クロスカントリー	藤田 菜々瀬	日本大学
2位	7	成年女子B	ジャイアントスラローム	向川 桜子	秋田ゼロックス(株)スキー部
2位	7	成年女子B	クロスカントリー	石垣 寿美子	秋田ゼロックス(株)スキー部
2位	7	少年男子	コンバインド	木村 幸大	花輪第二中学校
2位	7	少年女子	クロスカントリー	成田 生絵	十和田高校
2位	7	少年男子	リレー	高橋 和希	秋田北鷹高校
				山本 竜	花輪高校
				木村 賢太郎	秋田北鷹高校
				土濃塚 悠成	秋田北鷹高校
3位	6	成年男子A	クロスカントリー	田中 聖土	早稲田大学
3位タイ	5.5	少年男子	スペシャルジャンプ	宮崎 敬太	花輪高校
3位タイ	5.5	少年男子	スペシャルジャンプ	湯瀬 晃成	小坂高校
3位		少年男子	コンバインド	宮崎 敬太	花輪高校
4位	5	成年女子A	クロスカントリー	佐藤 葵	早稲田大学
4位	5	少年男子	クロスカントリー	進藤 洸太	花輪高校
4位		少年男子	コンバインド	湯瀬 瞬	小坂高校
4位	5	少年女子	ジャイアントスラローム	齊藤 実祐	角館高校
5位	4	成年男子B	スペシャルジャンプ	成田 巨樹	小坂製錬(株)
6位	3	成年男子A	クロスカントリー	児玉 宗史	東海大学
6位		成年男子B	スペシャルジャンプ	小山内 佳彦	東京美装興業(株)鹿角事業所
6位	3	少年女子	クロスカントリー	米田 菜緒	小坂高校
8位		少年男子	コンバインド	湯瀬 晃成	小坂高校
8位		少年女子	クロスカントリー	平川 歩未	秋田北鷹高校
9位	1	成年男子B	コンバインド	成田 巨樹	小坂製錬(株)

競技得点ルールによる点数変更 入賞数 27
 入賞者が3名以上の場合、上位2名のみ得点

第72回国民体育大会冬季大会スケート競技会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 31位 10.0点 [10点(参加得点)]
 女子総合成績(皇后杯)・得点 23位 10.0点 [10点(参加得点)]

第72回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 12位 10.0点 [10点(参加得点)]

第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 1位 150.0点 [140.0点(競技得点)+10点(参加得点)]
 女子総合成績(皇后杯)・得点 1位 59.0点 [49.0点(競技得点)+10点(参加得点)]

第72回国民体育大会冬季大会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 5位 170.0点 [140.0点(競技得点)+30点(参加得点)]
 女子総合成績(皇后杯)・得点 7位 69.0点 [49.0点(競技得点)+20点(参加得点)]



平成28年度秋田県スポーツ賞受賞者

◆ 功 勞 賞 ◆



細田 修一
秋田県柔道連盟参与



作左部 實
秋田県ボート協会副会長



佐々木 民秀
秋田県山岳連盟元常任理事



佐々木 茂
秋田県剣道連盟副会長



佐藤 卯兵衛
秋田県ボクシング連盟名誉会長

◆ 栄 誉 賞 ◆



佐藤 武
にかほ市バレーボール協会顧問



猪岡 堅二
羽後町体育協会副会長

◆ 生涯スポーツ賞 ◆【個人】



小野 準一郎
男鹿市



成田 成男
北秋田市

◆ 生涯スポーツ賞 ◆【団体】

八郎潟町ミニテニス協会 八郎潟町

国際奨励賞

成田 政志 フェンシング

優秀指導者賞

佐藤 貢 レスリング 秋田市消防本部

栄 光 賞 【個人の部】

小林快	陸上競技	(株)ビックカメラ	佐々木翼	カヌー	(公財)秋田県体育協会
関本萌香	陸上競技	大館鳳鳴高校2年	佐々木優	カヌー	(公財)秋田県体育協会
小林明日香	水泳	筑波大学大学院2年(秋田AC)	最上愛里沙	スキー	日大習志野高校
浅利真美子	ボート	秋田高校3年	宮崎敬太	スキー	花輪高校2年
島谷志東	レスリング	秋田商業高校3年	湯瀬祐介	スキー	小坂高校3年
米澤凌	レスリング	秋田商業高校2年	湊吉大	スキー	東京美装興業(株)
山田修太郎	レスリング	秋田商業高校2年	木村幸大	スキー	花輪高校3年
吉川航平	レスリング	早稲田大学4年	木村幸大	スキー	鹿角市立花輪第二中学校3年
櫻庭功大	レスリング	拓殖大学2年	向川桜子	スキー	秋田ゼロックス(株)
大坂昂	レスリング	三菱電機(株)	生田康宏	スキー	東京美装興業(株)鹿角事業所
岩澤侃	レスリング	早稲田大学1年	成田生絵	スキー	十和田高校3年
米澤圭	レスリング	早稲田大学2年	石垣寿美子	スキー	秋田ゼロックス(株)
多胡島伸佳	レスリング	早稲田大学4年	田原朱莉	スキー	十和田高校3年
伊藤昌	レスリング	国士舘大学3年	田中聖土	スキー	早稲田大学3年
佐藤亮哉	ウエイトリフティング	(公財)秋田県体育協会	土濃塚悠成	スキー	秋田北鷹高校2年
信太	ウエイトリフティング	能代工業高校3年	藤田菜々	スキー	日本大学1年
成田	フェンシング	聖霊高校1年	平川未	スキー	秋田北鷹高校1年
安部	フェンシング	専修大学4年	湯瀬晃	スキー	小坂高校1年



栄光賞 【団体の部】

- 第71回国民体育大会レスリング競技
- 第71回国民体育大会バスケットボール競技
- 第71回国民体育大会弓道競技
- 第71回国民体育大会なぎなた競技
- 内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯争奪
第70回全日本総合バドミントン選手権大会
- 平成28年度全国高校総合体育大会レスリング競技
- 平成28年度全国高校総合体育大会フェンシング競技
- 平成28年度全国中学校体育大会ソフトボール競技
- 第69回全日本フェンシング選手権大会女子フルレ団体
- 第66回全国高等学校スキー大会クロスカントリー競技
- 第66回全国高等学校スキー大会クロスカントリー競技
- 第66回全国高等学校スキー大会学校対抗
- 第66回全国高等学校スキー大会学校対抗
- 第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会
クロスカントリー競技
- 第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会
クロスカントリー競技
- 第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会
クロスカントリー競技
- 第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会男女総合
- 第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会女子総合

- 秋田県チーム
- 成年女子秋田県チーム
- 成年女子秋田県チーム
- 少年女子秋田県チーム
- 北都銀行バドミントン部
- 秋田商業高校レスリング部
- 秋田北鷹高校フェンシング部
- 能代市合同チーム
- 秋田市役所チーム
- 秋田北鷹高校男子リレーチーム
- 十和田高校女子リレーチーム
- 十和田高校女子チーム
- 花輪高校男子チーム
- 女子秋田県リレーチーム
- 少年男子秋田県リレーチーム
- 成年男子秋田県リレーチーム
- 秋田県チーム
- 秋田県女子チーム

奨励賞 【個人の部】

齋藤 椋 陸上競技 秋田工業高校3年
 田中 駿 スキー 角館高校2年
 土佐 千乃 フェンシング 御野場中学校3年

松川 瑛 カヌー 本荘南中学校3年
 田子 麻聖 相撲 十和田小学校6年

奨励賞 【団体の部】

- 第36回全日本中学選手権競漕大会
- 第36回全国少年柔道大会
- 第36回全日本バレーボール小学生大会

本荘南中学校ボート部
 雄武館 山中道場
 大曲ウイングスjr

オリンピック・チャレンジ賞

佐々木 将汰 ・ 佐々木 翼 第31回オリンピック競技大会 リオデジャネイロオリンピック 2016
 競技【カヌー・スラローム男子カナディアンペア】
 所属【万六建設株式会社】

万六建設株式会社

平成28年度受賞者数一覧

賞	個人	団体
功 労 賞	5名	
栄 誉 賞	2名	
生涯スポーツ賞	2名	1団体
国際奨励賞	1名	
優秀指導者賞	1名	
栄 光 賞	36名	18団体 延べ134名
奨 励 賞	5名	3団体 延べ 25名
オリンピック・チャレンジ賞	2名	1団体
合 計	54名	23団体 延べ159名



平成28年度

人見スポーツ賞受賞者

『成績だけでなく、当該年度に、スポーツのよさ、美しさ等を発揮して県民に深い感動を与え、強く心をひきつけたもの』

○個人の部

佐々木 悟 (旭化成陸上部)
 ・リオデジャネイロオリンピック2016 マラソン

○団体の部

秋田県スキーチーム
 ・第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会 天皇杯・皇后杯同時獲得

畠沢国体賞受賞者

『国民体育大会において優秀な成績を収め、本県スポーツの振興に著しく貢献したもの』

○個人の部

生田 康宏 (東京美装興業(株)鹿角事務所)
 ・第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会 ジャイアントスラローム 成年男子C 優勝

○団体の部

弓道競技(近的)秋田県成年女子チーム
 ・第71回国民体育大会 弓道競技(近的) 優勝

辻ジュニアスポーツ大賞受賞者

『技量優秀で、将来性が認められるもの』

○個人の部

土佐 千乃 (秋田市立御野場中学校3年)
 ・ヨーロッパ・カデ・サーキット国際大会 女子フルーレ個人 第3位
 ・ 同 女子フルーレ団体 優勝メンバー
 ・第71回国民体育大会 フェンシング競技 少年女子 フルーレ 第4位最年少メンバー

○団体の部

秋田市ジュニアフェンサーズ
 ・第2回全国中学生フェンシング選手権大会 女子団体 優勝



平成28年度 全国高等学校総合体育大会成績(スキー)

開催地：群馬県片品村 期日：平成29年2月2日(木)～6日(月)
 ○クロスカントリー会場：尾瀬ほか高原スポーツパークCC
 ○アルペン会場：スノーパーク尾瀬戸倉
 ○ジャンプ・コンバインド会場：片品ジャンツェ、尾瀬ほか高原スポーツパークCC



スペシャルジャンプ優勝の宮崎敬太(花輪2年)

種目	成績	性別	学校名・名前・学年
スペシャルジャンプ	1位	男	花輪 宮崎敬太 ②
5kmフリー	1位	女	十和田 成田生絵 ③
ノルディックコンバインド	1位	男	花輪 木村吉大 ③
5kmクラシカル	1位	女	十和田 成田生絵 ③
10kmクラシカル	1位	男	秋田北鷹 土濃塚悠成 ②
スペシャルジャンプ	2位	男	小坂 湯瀬瞬 ③
5kmフリー	2位	女	十和田 田原朱莉 ③
5kmクラシカル	2位	女	十和田 田原朱莉 ③
リレー10km×4	2位	男	秋田北鷹 野田頭峻也 ② 高橋和希 ② 木村賢太郎 ① 土濃塚悠成 ②
ノルディックコンバインド	3位	男	小坂 湯瀬瞬 ③
5kmクラシカル	3位	女	秋田北鷹 平川歩未 ①
リレー5km×3	3位	女	十和田 田原朱莉 ③ 成田生絵 ③ 望月咲良 ②
5kmフリー	4位	女	秋田北鷹 平川歩未 ①
スペシャルジャンプ	5位	男	小坂 湯瀬晃成 ①
10kmフリー	5位	男	秋田北鷹 木村賢太郎 ①
5kmクラシカル	5位	女	花輪 田中星那 ①
リレー10km×4	5位	男	花輪 高畑弘也 ③ 木村龍也 ③ 山本竜 ② 進藤洸太 ①
リレー5km×3	5位	女	秋田北鷹 平川優花 ② 加藤萌 ② 平川歩未 ①
ノルディックコンバインド	6位	男	小坂 湯瀬晃成 ①
5kmクラシカル	6位	女	花輪 児玉滯香 ②
スペシャルジャンプ	6位	女	花輪 工藤稀凜 ①
10kmクラシカル	7位	男	花輪 木村龍也 ③
5kmフリー	8位	女	小坂 米田菜緒 ③
ノルディックコンバインド	8位	男	花輪 宮崎敬太 ②
リレー5km×3	8位	女	花輪 田中星那 ① 児玉滯香 ② 工藤稀凜 ①
10kmフリー	9位	男	秋田北鷹 土濃塚悠成 ②
10kmフリー	10位	男	秋田北鷹 高橋和希 ②
5kmクラシカル	10位	女	小坂 米田菜緒 ③
学校対抗	2位	男子	花輪高等学校
	4位		秋田北鷹高等学校
	5位		小坂高等学校
	1位	女子	十和田高等学校
	5位		秋田北鷹高等学校
	6位		花輪高等学校



2種目優勝の成田生絵(十和田3年)

※○数字は学年 ※入賞(スキー10位)以内

平成28年度 全国中学校体育大会(冬季大会)秋田県選手上位成績一覧

【スキー】開催地：山形県最上町、真室川町、米沢市 期日：平成29年2月2日(木)～5日(日)
 ○クロスカントリー：真室川町 秋山クロスカントリーコース
 ○アルペン：最上町 赤倉温泉スキー場
 ○ジャンプ・コンバインド：米沢市 御成山公園ジャンプ場・総合公園クロスカントリーコース

種目	成績	性別	学校名・名前・学年
ノルディックコンバインド	4位	男	花輪第二 小舘冬歩 ③
リレー3km×4 秋田選抜	4位	女	合川 近藤さくら ① 森吉山田智子 ① 小坂本田千佳 ③
			花輪第一 黒澤南帆 ③ 小坂澤田羽夏 ② 花輪第二 児玉結衣 ②
			上小阿仁 松浦有香 ②
スラローム	5位	男	生保内 田口慧 ③
リレー5km×4 秋田選抜	5位	男	合川 小野寺唯人 ② 合川 堀部慈生 ② 八幡平 畠山侑也 ②
			上小阿仁 山田龍輔 ② 上小阿仁 上平晃也 ③ 藤里 小森克樹 ③
			花輪第二 木村直希 ③
5kmクラシカル	7位	男	合川 小野寺唯人 ②

※○数字は学年 ※入賞(スキー10位)以内



インターハイ(スキー)インタビュー

平成29年2月2日(木)~6日(月) 群馬県片品村

男子10kmクラシカル優勝

土濃塚悠成選手 (秋田北鷹高等学校2年)

1. 大会に挑んだ気持ち・心構えは

絶対優勝するという強い気持ちで臨みました。残念ながら初日の10kmフリーではその気持ちが空回りしてしまいましたが、この経験がクラシカルでは良い方向に向かってくれたと思います。

2. 感想・勝因は

自分だけの力では優勝できなかったと思うので、サポートしてくれた皆さんに感謝しています。オフシーズンの厳しいトレーニングを乗り越えたことが自信となっていました。当日はフィジカル面でもメンタル面でも充実しており集中して試合に臨むことができました。またスキーの状態も良く、コースでの応援も力になりました。



土濃塚悠成(※)

3. インターハイ・国体・全国選抜大会の3冠について

インターハイで自信が付き、波に乗っていったと思います。しかし、高校3冠を獲ったからといって気を抜けるわけではないので、さらに高みを目指して引き締めていきたいと思っています。

4. 今後の課題、目標等

3年生の時に伸び悩む先輩達を見てきました。そうならないように目標を明確にし集中してトレーニングに励んでいきたいです。来年の目標は全国規模の大会全てで優勝することです。またチャンスがあれば世界ジュニア選手権にも出場したいと思っています。そのためにはオフシーズンのトレーニングをしっかりとこなしていくことと、今シーズン感じた細かいフォームの修正が必要だと考えています。

男子コンパインド 優勝

木村吉大選手 (花輪高等学校3年)

1. 大会に挑んだ気持ち・心構えは

ジャンプの調子が良かったので、落ち着いてジャンプを飛ぶことができ、後半のクロスカントリーで良い位置でスタートすることができました。いつも通りやるべき事をやって、先生に言われたように9割程度くらいでリラックスすることを意識しました。



木村吉大(※)

2. 勝因・感想は

すごく欲しかった優勝なのでとても嬉しいです。ジャンプでも今できるベストパフォーマンスが出ましたし、後半のクロスカントリーではこれまでの反省を活かした走りができました。しかし、まだまだ反省するところがあるのでこれからも頑張っていきたいです。

3. インターハイ・国体・全国選抜大会の3冠について

一つ一つの大会で優勝することだけに集中していました。その結果がいつか来る3冠だと思います。素直に嬉しかったです。

4. 卒業後の目標について

世界で戦える選手になれるように頑張りたいです。

◎^{あかり}田原朱莉選手 (3年)

2. 結実した努力とは

昨年度、リレーが3位でしたので今年は優勝をしたい(しよう)と考えながら1年間練習してきました。また、全員で行う全体練習はもちろんですが自主練習も行うなどし個々でも取り組んできました。女子5名が互いに競い合って質の高い練習をしてきたことが総合優勝につながったと思います。個人的には全国大会優勝候補の生給がいたので、彼女を目標に日々の練習でついつい滑りをまねしたりするなど頑張りました。



◎望月咲良選手 (2年)

3. 最上級生となる来年の目標は

成績面ではインターハイで入賞することです。滑りについてはクラシカル、フリー種目共に分け隔りなく3位で学校対抗優勝を確定(※)してなくバランスよく結果を残したいです。

新チームでも優勝カップを持ち帰る意気込みで頑張りたいです。

◎^{さとゆき}加賀誠幸監督

4. 成田・田原が2種目でワンツー、その強さの秘密は

秘密は…私にも分かりません。高校生最高の大会に心身の状態、使用するスキーなどの用具、ワックスなど様々なものをしっかり合致させたことでしょ。1月中旬から始まった県内大会では他校の成績の方が良く、本校はそこそこの出来具合で予選会を終えました。下旬の東北大会でようやく思っていたような滑りができつつありましたのでその後のインターハイでは技術的には細かい微調整、あとは特に疲労を持ち越さずに練習しながら現地環境に慣れてくれれば、成田の個人優勝と田原の入賞(下位にでも)は期待できるかなと考えていました。期待した以上の好成绩で私自身も驚いています。2人とも昨年の大鰐インターハイでの成果と反省を忘れた一番の要因だと思います。個々についてひとつ上げるとすれば、成田は全身持久力が高いのでスタートからゴールまでペースを落とさず、テンポ良く滑ることができます。今大会のような標高が高いところでは心肺機能の能力差が大きかったと思います。また、田原は長身で手足の長さを生かしたストライドと登り以外の平地や下りも苦手としないまわりある滑りができるので、今回のコースに彼女の特性がうまくあったのではないのでしょうか。

5. リレー優勝への思い

生徒たちは昨年3位だったリレーでの優勝を目標としていました。大会期間に入り、個人戦でのワンツーフィニッシュがあり、勢いもありましたし優勝を狙えるチャンスはあったと思います。本校が優勝するには先行逃げ切りが得策と考え出走させましたが、レース中はかなりの降雪で前半から中盤までに差を付けることができませんでした。アンカーがラスト2.5km付近まで先頭集団に食らいついてくれましたが、最終的には40秒程度離され3位という結果でした。降雪がすくなければ、第1走者が転倒しなければなど「たら、れば」を言えばきりがありません。優勝できる真の実力が足りなかったということだと思います。

6. 圧倒的優勝について

まずは順位ではなく本人たちの持っている力をしっかり発揮させることを考えていました。それを踏まえ個々では〇〇が優勝、〇〇が20位以内、リレーはうまく行けば…などと期待していました。個人戦やリレーでの順位についての目標はありましたが、学校対抗(総合順位)については全く考えていませんでしたので驚きでした。個人優勝は一人でもできますが総合優勝はチーム力が問われます。また他校の得点も影響してきます。総合優勝というチーム、学校としての最高の評価(総合優勝)をもらえ感無量です。



加賀誠幸監督

女子学校対抗優勝 十和田高等学校

◎^{いくえ}成田生絵選手 (3年)

1. クラシカル・フリーの2冠について

オフシーズンからシーズンに入ってから毎日補強運動など筋トレを欠かしませんでした。また、ストレッチも同様に続け体のケアにも努めました。技術面ではフォーム改善について先生のアドバイスや自分でも考えて継続的に取り組みました。特にシーズン初めは重点的に行いました。

1年生のころから目標としていたインターハイでの優勝を最終学年で達成できとてもうれしいです。一緒に頑張ってきたチームメイトと共に表彰台に上がることができたことも同様にうれしかったです。



アンカー望月を迎えるリレーメンバー

※印：写真提供：秋田魁新報社



第15回日韓青少年冬季スポーツ交流(スキー競技)を開催

【受入期間】 平成29年1月 8日～14日 秋田県 鹿角市
【派遣期間】 平成29年2月20日～27日 韓国 江原道、他

受入事業では、雪不足により、アルペン会場を急遽変更することになったものの、けが人や病人を一人も出すことなく全日程を無事に終えることができた。雪上レクリエーションでは、両国団員と一緒に「スノーラフト」や「そり滑り」をしたことで、打ち解けた雰囲気となった。その後の文化探訪や歓送会では行動を共にしたり、IDカードや連絡先を交換するなど、友好・友情を深めていた。そのほか、秋田名物「きりたんぼ」の手作り体験や、国重要文化財に指定されている「康楽館」、「小坂鉱山事務所」など、秋田の観光地を巡ることによって、日本の文化や歴史にふれた。

派遣事業では、初めての海外、親元を離れての集団生活、生活・文化の違いなど、出発前は多くの不安を抱えていたが、心配もなんのその、適応力の高い中学生スキーヤーらは、すぐに環境にも慣れ、多くの友達を作っていた。

両国の選手団が受入・派遣を通じた交流により、相互の練習方法を学んだり、情報交換により、両国のハード面やソフト面といったスキー事情についても知ることもできた充実した約2週間の交流となった。



受入 (記録会)



受入 (雪上レク)



派遣 (文化探訪)



派遣 (歓送会)

2017新春セミナー「トップアスリートを秋田から」開催

～秋田での競技生活と仕事の両立を支援する就職支援制度に関するセミナーを開催しました～

平成29年2月28日、秋田キャッスルホテルにおいて、トップアスリートと企業をマッチングする就職支援制度について、セミナーを開催した。本会に加盟する競技団体と県内企業及び県内で競技を続け、国体での上位入賞や世界を目指している現役アスリート等、約50名が参加して行われた。本会では、昨年7月に「秋田トップアスリート無料職業紹介所」を開設し、安心して競技に取り組める環境を望むトップアスリートと、社内に新たな活力が生まれることなどを期待している企業と、Win-Winの関係を築いて行くことを目的とした事業を展開している。

講師には、リオデジャネイロオリンピック・カヌースラロームカナディアンペアに出場した佐々木翼選手と、佐々木選手が所属する万六建設株式会社専務取締役の田中裕雅氏をお招きし講演をいただいた。

佐々木選手は、会社のサポートについて「リオの1年半前からフルタイムで練習する環境を与えてくれたからこそリオへの出場が叶った」と感謝を口にした。また、田中氏は「会社と一緒に働く仲間が選手として結果を残してくれたことで、社員全体が会社を誇りを持つようになった。これからも会社として支援できることは続けていく」と話した。



田中裕雅氏の講演



佐々木翼選手へのインタビュー



県内スポーツの主なできごと

11月

- 23日 中学生強化育成事業・ジュニアアスリート指導者研修
- 25日 藤井新悟選手（リオ・パラリンピック車いすバスケットボール日本代表）が、美郷中学校で講演
- 26日 第11期秋田県中学生強化選手指定証交付式
- 29日 体操競技五輪メダリストの小野喬氏が、母校の湍城西小学校に「立志」の揮毫を贈呈

12月

- 4日 バドミントン全日本総合選手権の混合ダブルスで、嘉村健士（トナミ運輸）・米元小春（北都銀行）組が優勝。女子ダブルスでは、米元小春、田中志穂組（北都銀行）が準優勝
- 10日 ソフトボールU-14日本代表の台湾遠征メンバーに、渡部翠里投手（能代市東雲中）が選出
- 13日 第44回JALホノルル・マラソンで、鈴木絵里選手（能代山本陸協）が5位入賞（4年連続で日本勢最高位）
- 23日 フェンシング全日本選手権団体戦の女子フルーレで、秋田市役所チームが準優勝

1月

- 7日 第24回JOCジュニアオリンピックカップフェンシング大会で、成田琉夏（聖霊高1年）がジュニア女子エペで優勝。翌8日には、カデ女子エペでも優勝し2冠を達成
- 8日 第15回日韓青少年冬季スポーツ交流（スキー競技・受入）を鹿角市で開催。14日まで
- 31日 ノルディックジュニア世界選手権大会（アメリカ）に木村幸大選手（花輪二中3年）が複合個人で出場し38位。複合団体の日本チームは8位

2月

- 5日 ジュニアアスリート支援セミナー（秋田市主催）で、日本レスリング協会の栄和人氏とリオ五輪金メダリストの川井梨紗子選手が、講師として参加者を指導
- 12日 バドミントンのS/Jリーグ2016最終日。北都銀行女子チームは首位と勝率タイの3位
- 14日 第49回全日本実業団バスケットボール選手権大会で、秋田銀行女子バスケットボール部が9度目の優勝
- 18日 FIS フリースタイルスキーワールドカップが、たざわ湖スキー場で開幕（～19日）
- 20日 第15回日韓青少年冬季スポーツ交流（スキー競技）で本県選手団を韓国に派遣（～27日）
- 23日 札幌冬季アジア大会のバイアスロン女子7.5和スプリントで、立崎芙由子選手（小坂町出身）が10位
- 24日 秋田県スポーツ賞表彰式
- 25日 秋田県中学生強化育成事業競技力向上研修Ⅱ
- 28日 「トップアスリートを秋田から」セミナーを開催

平成28年度 秋田県体育協会 賛助会員

県体育協会の賛助会員として、多くの法人・個人の皆様より事業推進にご賛同をいただいております。ご協力ありがとうございます。本号では、平成28年12月1日から平成29年2月28日までの受付分の賛助会員をご紹介します。

【法人会員】 秋田県ボウリング連盟

秋田県体育協会へのご寄付のお願い

本県スポーツの振興と競技力の向上を図り、さまざまな公益目的事業を実施する経費の一部に充てるため、県民及び県内外の企業、団体へご寄付をお願いしております。

公益財団法人への寄付は、所得税法、法人税法による寄付金特別控除、損金算入（法人の場合）などの特例対象となります。

スポーツ立県を支え、実現していくために、多くの皆様のご理解、ご協力をお願いします。

平成28年12月1日から平成29年2月28日までの間、寄付申込みをいただいた法人・団体・個人を御紹介します。（敬称は略させていただきます。）

【法人・団体】

秋田テレビ株式会社
有限会社金子建設工業

日本空手協会秋田県本部
ロイヤルモーター株式会社

※あいうえお順、敬称略



県体協事務局だより

会議録(抄)

12月1日 第2回総務企画委員会

- ・バスケットボール競技普及等助成事業について

12月16日 第2回臨時理事会

- ・国民体育大会の結果について
- ・日体協公認スポーツ指導者等表彰受賞者について
- ・第15回日韓青少年冬季スポーツ交流について
- ・寄付金の申込状況について
- ・消費税及び地方消費税の還付について
- ・冬季国体の新ユニフォームのデザイン等について
- ・理事会推薦の理事候補者の選出方法について

1月12日 第1回審査委員会

- ・秋田県スポーツ賞第一次審査

2月10日 第4回強化委員会

- ・テクニカルアドバイザーの選考について
- ・社会人スポーツ強化チームの選考について
- ・29年度選手強化計画について

2月21日 第2回審査委員会

- ・秋田県スポーツ賞第二次審査
- ・三賞候補者の選考

2月24日 第3回定例理事会

- ・理事等の年齢制限について

2月24日 オリンピック・パラリンピック候補 選手支援募金 支援対象者選定委員会

- ・支援対象者の選考について

2月24日 第2回秋田県スポーツ賞選考委員会

2月24日 三賞選考委員会

3月10日 第3回総務企画委員会

3月10日 第3回定例理事会

- ・業務執行理事の業務報告について
- ・国民体育大会冬季大会の結果について
- ・第15回日韓青少年冬季スポーツ交流について
- ・特別寄付金の執行状況について
- ・オリンピック・パラリンピック候補選手支援募金について
- ・冬季国体のユニフォームについて
- ・平成29年度事業計画(案)について
- ・平成29年度収支予算(案)について
- ・定款の一部改正(案)について
- ・評議員及び役員等候補選出規程の一部改正(案)について
- ・職員就業規則等の一部改正(案)について
- ・理事会推薦の次期理事候補者について
- ・特定費用準備資金の保有について
- ・臨時評議員会の招集について

3月16日 第2回スポーツ医・科学委員会

- ・国民体育大会の成績報告
- ・帯同ドクターの活動報告
- ・ドーピング検査結果及びTUE申請の推移
- ・スポーツ医・科学委員会活動報告

平成28年度 関係団体創立記念行事一覧

関係団体の創立記念行事が次のとおり開催されました。誠におめでとうございます。

今後の益々の発展とご活躍を祈念いたします。

三種町体育協会 創立10周年記念式典・祝賀会	1月14日	ホテル森山館
J R秋田バスケットボール部 70周年記念祝賀会	3月25日	ホテルメトロポリタン秋田

訃報

永年にわたり、本県スポーツの発展、振興に寄与されましたご功績を称え、謹んでご冥福をお祈りいたします。

佐々木 茂 氏 元本会理事 平成29年1月2日 ご逝去

能 登 祐 一 氏 本会 監 事 平成29年1月19日 ご逝去

編集 後記

ながの銀嶺国体冬季スキー競技会で、本県選手団が、天皇杯・皇后杯を同時に獲得する快挙を成し遂げました。少年選手の活躍もめざましく、複合王国の復活の手応えが感じられます。今後も、選手強化の取り組みを強化してまいりますので、ご支援とご協力をお願いいたします。

本誌の発行にあたり、ご多用中の折、取材や原稿執筆などにご協力くださいました皆様、写真を提供していただきました秋田魁新報社様、ご協力ありがとうございました。(佐藤事務局長)

本格派コーヒー・自動販売機サービス

M.M.C.®

三本コーヒー株式会社
秋田支店

〒010-0916 秋田県秋田市泉北3-3-35
TEL 018 (865) 5461 FAX 018 (888) 1721

駄菓子・クジ・縁日グッズ
お菓子の袋詰

しもむら



☎832-6766 駄菓子のしもむら 検索

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 泚 士

秋田県大館市中道三丁目1番50号
TEL 0186-49-0280
FAX 0186-43-0002

株式会社松 田

地域的发展とともに
株式会社湯沢生コン
松田グループ 株式会社丸栄建設
株式会社出羽運輸

株式会社エィコウ物産

本 社 / 湯沢市字鶴館 39-4 TEL.0183-73-0188

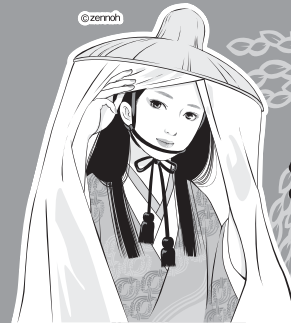
事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

税理士法人
秋田税経プランニング

税理士 木 村 了
税理士 横 山 富 夫

本 店 / 秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022
横山会計 / 秋田市川尻若葉町4番37号 Tel.018-862-6388



あきた eco
らいす

美人を育む
秋田米

秋田県が示している一般的な栽培方法より、
使用農薬成分回数を半分以下に抑えて栽培された

あきた ecoらいす

JAグループ秋田・JA全農あきた



輝きを 汗に 瞳に このまちに
能代山本スポーツリゾートセンター **アリナス**

スポーツ 合宿 研修 ... に

ア リ ナ ス 宿 泊 室
ト レ ニ ン グ ル ー ム ス ト ラ ン 場
温 水 プ ー ル 温 泉 浴 場
研 修 室 (サウナ有)
ミ ー テ ィ ン グ ル ー ム



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1
JR能代駅から車で10分
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322
http://www.noshiroyamamotokouikiken.jp
/kouryuu/arinasu/list.html



スポーツ安全保険[®]

対象となる事故

団体活動中の事故/
往復中の事故



保険期間

平成29年4月1日午前0時から
平成30年3月31日午後12時まで

加入区分・掛金・補償額

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	事故の日からその日を含めて180日以内			
						入院日額 (1日目から/ 180日限度)	通院日額 (1日目から/ 30日限度)		
子ども (中学生以下) ※特別支援学校高等部の生徒を含む	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円)	突然死 (急性心不全 脳内出血 など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段: 団体活動中およびその往復中の補償額 下段: 上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の 場合、保険金額はA1区分と同様	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故 5億 500万円 (ただし、対人賠償は 1人1億500万円)	葬祭費用 180万円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C 64歳以下	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円) ⚠️自動車事故によ って賠償責任を負 った場合は、補償 の対象となりませ ん。	突然死 (急性心不全 脳内出血 など) 葬祭費用 180万円
	※右記年齢の判断は、「平成29年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。	B 65歳以上	1,200円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2 A2区分は65歳以上の方も加入できます。	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
全年齢	危険度の高いスポーツ	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。



公益財団法人 スポーツ安全協会 秋田県支部 (公財)秋田県 体育協会内

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター内

TEL 018-883-0360 電話受付時間 午前8時30分～午後5時(土、日、祝日を除く。)



保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。
※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全協会

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346 (平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(平成29年4月)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜
大同火災 東京海上日動 日新火災 富士火災 三井住友海上

平成28年12月作成 16-T20746